

12/17
雑誌

戦争法廃止へ運動を

高齢者大会 中央実行委を発足

来年8月28、29の両日に開かれる「第30回日本高齢者大会」in東

京」の成功に向けて15日、東京都内で中央実行委員会が発足しました。戦争法廃止の政府づくりの運動と地域の高齢期運動連絡会活動の飛躍へのべ1万人の参加を目標とすることを確認しました。58人が参加しました。

藤谷氏は「戦争法反対で主権者・国民が声をあげる、新しい民主主義の高揚の中で開かれる大会で、直前には参院選があります。高齢者の要求を実現させよう」と強調。「人間らしく」「戦争法廃止」をスローガンに掲げ、消費税増税中止や社会保障充実の国民的課題に取り組むこと、認知症になっても住み続けられる街づくりの運

動、国の隅々に自治体ごとの高齢期運動の地域連絡会をつくることとの意義を述べました。
高齢者大会in東京・東京実行委員会の菅谷正見事務局長が第30回大会の準備について説明しました。
中央実行委員長に選出された全日本年金者組合の富田浩康委員長は「社会保障削減が戦争につながったことは歴史が教えている。安倍政権は腹立たしいことを平気でやっていた。『自助・自立』とあって国が責任を果たさないのは許さない。総力を挙げて大会成功へ頑張る」とあいさつしました。

日本高齢者運動連絡会の藤谷恵三事務局長が情勢と大会の意義について報告しました。